

革新

～仲間とともに輝く未来を創出しよう！～

2021年1月18日(月)

Report

新春交歓会・1月度例会

組織革新委員会 副委員長 大浦 正嗣

1月18日(金)新春交歓会を新型コロナウイルスの影響によりYouTube配信にて開催させていただきました。本年度の運動方針を関係諸団体に広く発信するために委員会メンバーが一丸となりこの事業に取り組みました。松下直前理事長の前年度の事業報告に続き、川瀬理事長の新年の挨拶並びに所信表明を行いました。川瀬理事長の熱い想いと本年度の方針を、皆さまにご理解いただけたと確信しました。また、予定事業発表では、各委員長の熱い意気込みを感じるとともに本年度の各事業に対するの想いが伝わったことと思います。

先行きが不透明な情勢ではありますがメンバー同士で目標を共有し、一丸となって本年度の運動に取り組んでまいります。



新年の挨拶と所信表明をする川瀬理事長



前年度事業報告をする松下直前理事長



2021年度役員紹介

JCI 一般社団法人 和歌山青年会議所

初めての試みとなったYouTube配信



予定事業発表をする佐武委員長

司会を担当した辻本委員



配信の準備をする組織革新委員会と総務広報委員会

2021年2月4日(木)

Report

北方領土返還要求運動 和歌山県民会議のご報告

総務広報委員会 委員長 松阪 考

2月4日(木)事務局にて、北方領土返還要求運動和歌山県民会議の大原有加専務理事に令和元年8月に北方領土を訪問されたご報告をしていただきました。

北方領土は江戸時代末期に日露間で締結された条約により日本の領土となっていました。第二次大戦の終戦直前にソ連から一方的に中立条約を破棄され、それ以来ソビエト連邦、現在のロシア連邦が占領することになりました。約2年間、17,000人余りの島民は捕虜として、日本に帰国することも許されず、現地で不遇な扱いを強いられました。帰国後も不慣れた環境で生活することを強いられたり、先祖の墓参りも満足に行えないなど我々が当たり前に行えるようなことが満足にできない日々を過ごされています。

北方領土を不法占拠されてから、北海道を中心に、全国で北方領土返還要求の機運が高まり、この運動を広めるために、全国で返還要求を推進するための団体が発足され、各地の青年会議所も参画しました。実際の交渉は政府間に行いますが、日本政府に提言を行うとともに、国民に啓発活動を行うべく青年会議所も重要な役割を担うようになり

ました。

終戦から75年以上が経過していますが、いまだに北方領土について大きな進展はありません。年月が経過したことで当事者の高齢化、2世3世と世代が変わるにつれて当事者の意識も変わりつつあります。ロシア系の住民も世代を重ね、自国の領土であるという意識が強まったことで、この問題がますます根深くなってしまっているという現状もあります。

我が国は北方領土以外にも領土問題を抱えています。この問題を放置してしまうと、国際世論に誤った発信を行うことになってしまいます。また、終戦から長い年月が経過していることもあり、領土問題に直面している地域以外での関心が薄れつつあることも多いので国内、国外に向けて声を上げることがやめしまうと他の領土問題でも同様に関心が薄れてしまいかねません。そうならないためにも我々青年会議所は今後も県民会議と協力し、市民の皆さまに啓発活動を続けていかなければと実感しました。



船から見た色丹島



日本人墓地



博物館に寄贈された元島民の花嫁衣装



宿泊の拠点となった「日本人とロシア人の友好の家」

2021年2月4日(木)

Report

北方領土返還要求対談

組織革新委員会 委員長 佐武 真介

2月4日(木)北方領土返還要求運動和歌山県民会議の大原有加専務理事にお越しいただき北方領土返還要求運動と青年会議所の関係性、北方領土問題の大切さを学ぶ機会をいただきました。

先の大戦後、75年以上が経過した今も、ロシアの不法占拠の下に置かれている我が国固有の領土である北方四島の返還を一日も早く実現するという、まさに国家の主権に関わる重大な課題です。

歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島早期返還の実現を目指して、外交交渉を支える国民世論の結集と啓発の充実、政府と民間が一体となった返還要求運動の全国的な発展・強化を図るとともに大原専務理事の熱い想いを拝聴することで、改めて和歌山青年会議所が継続的に北方領土問題に取り組んでいかなければならないと感じました。



和歌山青年会議所事務局で大原専務理事と対談を行いました

会員資格規程の変更と今後の拡大運動について

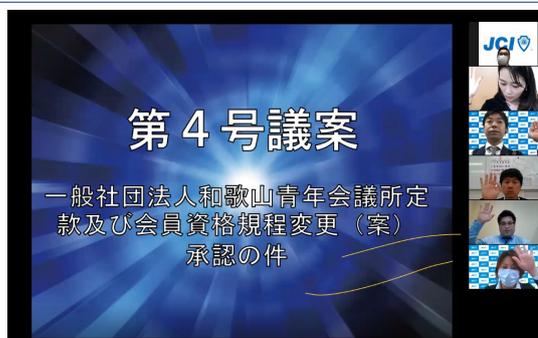
Report

会員拡大委員会 委員長 松原 翔太

2月26日(金)に開催されました2月定時総会において、一般社団法人和歌山青年会議所定款及び会員資格規程変更について審議が行われ可決されました。今回の変更によって、これまで毎年7月に一括で新入会員の入会を行っていたものを改め、毎月新入会員を迎えることができるようになりました。

我々会員拡大委員会は今回の改定を受けて、皆さまにご紹介いただいた入会候補者の方にきめ細かにアプローチし、1人でも多くの候補者を入会に導き、新入会員が1日も早く和歌山青年会議所に慣れていただけるよう努めてまいります。

そして、多くの皆さまに私たちの運動を発信できるよう今後も拡大運動にご協力をお願いいたします。



採決の様子

わとらんタイムトラベル

～WAKAYAMAプロジェクションマッピングin市駅～ (2015年)

今回は2015年に行われたWAKAYAMAプロジェクションマッピングin市駅を振り返らん



本年度は「わとらんタイムトラベル」と題し、和歌山青年会議所がこれまでに行ってきた様々な事業をわとらんが当時の担当者にお話を伺って振り返ります。
今回は2015年に行われた「WAKAYAMAプロジェクションマッピングin市駅」について山本浩康先輩にお話を伺います。

- ・この事業を行うことになった経緯について教えてほしいらん♪
「委員長基本方針にも「街の活性化をしたい」と決めていましたが、和歌山市駅ビルの建て替えが決まっていたので取り壊す直前に大規模なイベントを行いたいと思い、まず場所を選定させていただいて、当時全国に広まりつつあったものの和歌山であまり行われていなかったプロジェクションマッピングを用いて市民の皆さまに和歌山市駅に足を運んでもらいたいと思いこの事業を行うことになりました。」
- ・事業を行うにあたって楽しかったことや苦労したことを教えてほしいらん♪
「1人では行うことができない事業だったのですが、役所や地域おこしを担う団体等多くの人と携わることができました。青年会議所がこれまでまちづくりを担う事業を多く実施してきた経緯もあり、各所で前向きにお話を聞いていただきました。苦労したことは、駅前で大規模な歩行者天国イベントを行うということで関係各所との調整は大変でした。道路だけでなく鉄道やバスにも影響があるので運行会社とも話し合いを重ねました。最終的に多くの市民の方に来場していただいたことは他に例えようのない達成感となりました。」
- ・現役会員にメッセージをお願いしますらん♪
「青年会議所は単年度ごとに役職も変わりますが、ともに活動した仲間との出会いはいつまでも残るものだと思います。多くの仲間にも助けられた1年でしたが、本気で向き合ったからこそ助けてもらったことも多かったのだと思います。皆さんも、その時与えられた役割に対して本気で向き合ってください。真剣な時間を共有した仲間は生涯のお付き合いになると思います。」



多くの来場者にお越しいただきました



当日の準備風景

3月度告知

『3月度例会』

2021年3月18日(木) 19:00～
Zoom

本例会は「第三者から見たわたしたちのまち」と題し、県外出身で和歌山大学観光学部准教授の永瀬 節治氏をお招きし、講演をしていただきます。和歌山市のまちづくり、過去から現在のまちづくりでどのような移り変わりがあったのかを学ぶことで郷土愛が育まれ、今後の青年会議所運動の活力となる例会となっておりますので、現役会員の皆さまにおかれましては、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

(渉外交流委員会 委員長 谷澤 輝也)

事務局だより

勤務先変更

OB 橋本 浩伸 先輩
〒641-0051 和歌山市西高松2丁目7-9
エミノワ株式会社 代表取締役

3月 スケジュール

4	木	第5回財政規則審査会議
8	月	第5回三役会
12	金	理事会
18	木	例会(WEB)
22	月	第6回財政規則審査会議
25	木	第6回三役会
30	火	委員長会議



編集・発行

一般社団法人 和歌山青年会議所

和歌山市西丁丁36番地(和歌山商工会議所5F)
TEL.073-428-3334代 FAX.073-431-1693
URL: <https://www.wakayama-jc.net>
mail: office@wakayama-jc.net

